

令和5年6月定例会

厚生委員会資料  
(子ども未来部)



請願・(陳情)		令和5年6月市議会定例会提出分		(新規)・継続	
受理 番号	受 理 年月日	件 名	請願・(陳情)者名		
2	令和5年 5月26日	所得制限を設けない高校卒業までの医療費窓口負担の完全無料化の実施について	住所 氏名		
請願・(陳情)の要点			左に対する措置等		
<p>高校卒業まで子供の医療費窓口負担を無料化する自治体が全国で広がっている。令和5年8月からは、秋田市でも高校生までの医療費助成が実施されることとなったが、所得制限や医療費の窓口負担が設けられている。現在、秋田県内で18歳までの医療費の完全無料化を実施していないのは、秋田市を含め3自治体のみとなっている。</p> <p>どこに生まれ、どこに住んでいても、全ての子供に必要な医療が平等に保障されるべきである。</p> <p>秋田市においても、秋田県内の他の自治体と同様に、所得制限を設けない高校卒業までの医療費窓口負担の完全無料化を実施すること。</p>			<p>本市では、これまで県制度を基本としながら、子ども福祉医療制度を段階的に拡充してきており、今年8月からは、中学生の所得制限基準額を小学生と同額まで引き上げるとともに、新たに高校生世代を助成対象に追加することとしている。この制度拡充により、助成対象者は約7,300人増加し、18歳以下の約8割が制度の対象となる見込みである。</p> <p>限られた財源の中、本制度の安定的な運営を図るためには、一定の所得制限と窓口での自己負担を継続する必要があると判断している。</p> <p>子どもの医療費の完全無料化には、多額の財源が必要となることから、引き続き国や県に対して、医療費助成制度の創設や拡充を要望していく。</p>		